

単元名 「歴史との対話」を未来に活かす

配当時間 2時間

単元の目標

- (2) これまでの学習を踏まえ、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもち、多面的・多角的に考察・構想し表現する力を身に付けることができる。
- (3) 現代の諸問題に関する歴史を振り返る活動を通じて、現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする。

標準的な展開例

12220103_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 現代の諸問題について、歴史的分野の学習を振り返り先人たちの知恵に学びながら、よりよい未来をつくる第一歩を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。 ●よりよい社会の実現のために、先人の取り組みから何を学び、私たちはどのように行動すべきだろうか。 <p>○現代社会の課題を捉える。 課題例①「災害の歴史に学ぶ」</p> <p>★災害に強い社会の実現をめざし、防災・減災に関するそなえを過去から学ぼう。</p> <p>○現代社会の課題について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な種類の災害を被っている。 ・近世を中心として、それ以降に多くの災害が発生している。 <p>○現代社会の課題について、先人の取り組みを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ききん対策については、青木昆陽や徳川吉宗（幕府）が痩せた土地でも育つサツマイモの栽培を奨励した。現代は米の品種改良によって低温、干ばつ、病害虫などへの対応がききん対策として引き継がれている。 ・干害対策については、行基や朝廷が、かんがい施設としてのため池を掘削した。現代は、ダムによる貯水で安定した水の供給を行うことが干害対策として引き継がれている。 <p>○先人の取り組みを踏まえ、自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災は、行政によって行われる場合が多いが、歴史を振り返ってみると、民衆の力で行われた取り組みも多かった。行政による防災・減災の取り組みを充実させることはもちろんだが、一人一人が防災に対する意識を高めそれぞれの災害に対してどのように行動するかを具体的に考え、行動することが大切である。 <p>○よりよい社会の実現のために、調べて考えたことを伝え合う。</p> <p>○歴史的分野の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教P. 298～P. 305 ・歴史を振り返る際は、教P. 298～P. 299の「テーマ別さくいん」や教P. 311～P. 317の「さくいん」を活用するとよいことを確認する。 ・教P. 300～P. 305に現代社会の課題の例として災害、政治参加、世界平和があるが、その他の課題について考えさせてもよい。 ・年代と災害の種類の両面から読み取らせ、江戸時代に集中していることのみに注目させるのではなく、災害の種類も多いことに着目させる。 ・教P. 300～P. 301の資料や「テーマ別さくいん」などを用い、どのような人々が、どのように災害に対処したのかを、その理由も併せて考えるよう指導する。 ・教科書に掲載されている情報だけでは不足している場合は、他の資料を準備しておくか、生徒に調べさせる学習を考えてもよい。 【評】よりよい社会の実現に向けて、災害に対する先人の取り組みについて振り返ったり、調べたりする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・災害に対する防災・減災の取り組みにおける大切なことについて、自分の考えをまとめさせる。 【評】災害や防災の歴史を踏まえ、災害に対して自分たちが取るべき行動を考えたり、自分の考えをまとめたりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・公民的分野へのつながりを見いだすことができるよう支援する。

【 備 考 】

本単元では、よりよい社会の実現のために、先人の取り組みから何を学び、自分たちはどのように行動すべきであるかについて、課題を設けて探究させる学習活動を展開する。標準的な展開例は課題例①「災害の歴史に学ぶ」（教P. 300～P. 301）を取り上げているが、課題例②「政治参加の歴史に学ぶ」（教P. 302～P. 303）や課題例③「世界平和への取り組みに学ぶ」（教P. 304～P. 305）、その他の課題について考えてもよいこととされている。本単元の学習を通して、公民的分野へのつながりを見いだすことができるようにさせたい。